



プロバスだより

第352号

2025年3月13日

編集・発行 情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立1995年10月18日

2024～2025年度 テーマ

語り合いたい場、語れる場、学び高まる場

第352回例会

日時 令和7年2月13日(木) 12:00～14:30

場所 八王子エルシィ

出席者 27名 出席率 79%

(会員総数 38名、欠席7名、休会4名)

1. 開会 河西例会副委員長

第352回例会開催を告げ、配付資料の確認が行なわれた。

2. 会長挨拶

塚本会長

2月例会への出席者は27名でした。ご出席を頂きましてありがとうございます。

今年は寒い冬となっているようです。老いたる我々にとっては厳しい冬、健康に留意しましょう。

本クラブの今年度の主たる活動行事であり、力を入れております合唱祭が来月です。その実行への準備である役割担当の活動がスタートしますので、ご協力のほどお願いいたします。

今日の例会も「語り合いたい場、語れる場、学び高まる場」になることを願っています。

3. ハッピーコイン披露

一瀬副会長からハッピーコイン14件の披露がありました。(3～4ページに掲載)

4. バースデーカードの贈呈

2月生まれの会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られた。



左から泉道夫会員・山本通陽会員・会長

5. 卓話

「おたすけ隊」ってなに！！ 土屋三千代

私の所属する自治会は昭和42年に発足してから57年が経過しました。高齢者が多い180世帯の小さな自治会です。

高齢者対策として平成27年より「災害時の要支援者」及び「災害避難支援協力者」事業



に参画し、希望者を選出しております。これらの方々に対する見直しを2年に1回実施しております。

現在は高齢化率も高まり、住民の36.2%まで占める状態になっております。

町会は小高い山の上に位置しているため、外出のたびに坂道を上り下りしなければなりません。大変な不自由さを感じております。

そこで、住民を対象にアンケート調査を実施しました。内容は、日々の暮らしの中で何か困っていることはないかというものです。

その集約結果を基に、地域安心相談センターとも共同で解決方法の検討を進めました。一番大きな問題は買物でした。高齢になって車の免許を返上したため、車による買出しができないという問題もありました。

買物をする場合は、インターネットによる方法や、カタログ販売に頼る方法とかがありますが、やはり実際に物を手に取ってみて購入したいという方々も多くおりました。そこで解決策を検討しました。

一つは移動スーパーの導入でした。しかし、今一つ人気が出ませんでした。

次いで、「はちバス」の乗り入れを企画し、バス会社と相談しました。急勾配があること、入り口の道路幅幅が狭いなどの理由で断念せざるを得ませんでした。近くに大きなショッピングセンターがあるのに残念なことでした。

先程のアンケート結果の中にありましたが、高齢者が多く、病院などや一寸した買物に出掛けるには不便を来しているとありました。

このような環境の中で、超高齢者と言えないまでも体の動く人達で援助できる方法はないかと検討した結果、「お助け隊」を発足させることにしました。市内でこのような制度を取り入れている自治会等に指導を仰ぎながら検討を続けることにしました。多くの所は、NPO を立ち上げて自治会とは切り離して独立し、専従運営されていました。

わが自治会は独立せず、自治会の中で実施しようと決めました。原則は各自の家の中には入らないこと。家の外回りを中心に行動することにしました。例えば、庭木の水やり、剪定、雑草取り、玄関前の雪かきなどです。

「お助け隊」の協力者をスタッフとし、自治会三役をコーディネーターと呼んでおります。会員からの申込を受けたら、まず、コーディネーターは会員から詳細な内容を聞いた後、スタッフを指名して作業の協力を依頼します。買物の場合は、車を提供してくれるスタッフにも協力依頼をします。

料金については、1人当り1時間500円で作業内容によってコーディネーターが査定して決めます。料金は自治会には入らず利用者がスタッフに直接支払います。

車の運行ルートは、一つは会員宅から並木町にあるスーパー～長房町のスーパー～自治会。もう一つは自治会～会員宅。もう一つは会員宅～長房町のスーパー～郵便局～カインズ～会員宅。月に2回運行します。ドライバーは「移動支援サービス向けの自動車保険」に加入しています。

今後については、運営に不具合が発生した場合にはコーディネーターを中心に改定、改良を重ね、続けていけるようにする予定です。

「お助け隊」活動マニュアルに沿いながら、運営してゆきます。

この活動は、防災上の一環としても活動出来るのではとも考えております。

最後に、「遠い親戚より近くの他人」と昔から言われているように隣近所で楽しい時間を過ごせるような街づくりに励んでゆきたいと考えております。

6. 幹事報告

代行 塚本会長

本日は斎藤幹事が都合により欠席しておりますので、代わって塚本から報告いたします。

細かい内容については、後程、担当者から説明があります。

- (1) 本クラブの今年度の最大活動である合唱祭
- (2) 当クラブの30周年記念行事及び宇宙の学校の15周年行事
- (3) 5月の会員研修を兼ねた移動例会

以上の件につき、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

7. 各委員会からの報告

地域奉仕委員会

持田委員長

「合唱祭」関係の報告

・1月21日(火)に各出演校の音楽担当者に事前説明会を南大沢文化会館にて18時から2時間行いました。参加は12校のうち、3校欠席で9校でした。今回は2回目の開催で昨年の経験がありますので、いろいろな質問・要望がありました。リハーサルの要不要、フィナーレのやり方・全員壇上に上がる必要の有無、など活発なやり取りでした。合唱祭に対する熱意として受け止めました。

・現在はプログラム作成のために、曲名・作詞/作曲者名・演奏時間・などのデータを各学校から収集しております。3月初旬には完成予定です。

・本日は、当日の役割分担について配布資料にて説明します。不参加の方もおりますので、担当が複数にまたがり一人何役も担当してもらう場合がありますが、ご了承ください。会場・控室などの資料は3月の例会での説明の場で配布します。今のところ、

準備は順調に進んでおります。ご協力宜しく願います。

8. 八王子プロバス 30 周年記念事業

持田準備委員長

・12月の臨時総会にて、30周年記念式典の準備委員会が承認されました。その委員長に任命されました。今後よろしく願います。

・式典は今年の10月26日(日) 午後から京王プラザ八王子にて開催致します。

宇宙飛行士の「講演会」と「祝賀式典」との2部構成です。飛行士の講演予約などは一応進めておりますが、正式の手続きは4月に入ってからになりますので、準備委員会は4月初旬に初会合を開き進めて行こうと考えております。

9. プロバス賛歌

起立・斉唱

10. 閉会挨拶

一瀬副会長

本日は強い北風の中、出席ありがとうございます。ただ出席率が低いのが寂しいですね。

今日は「おたすけ隊」という自治会の取り組みについて、土屋会員からの興味深い卓話をはじめ「私の健康管理」での経験談の披歴、間近に迫った合唱祭の詳細説明など盛りだくさんの内容の例会でした。また全日本プロバス協議会から賛助会員の協賛金の募集が参っています。会員の皆様のご支援を願います。

春は未だしの感がありますがお互い健康に気を付けて厳冬を乗り越えましょう。



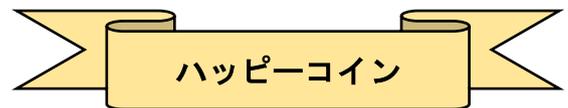
囲碁同好会のこと 一井上克さんを偲びつー

橋本 鋼二

囲碁同好会は初代会長だった大野聖二さんが創めた東京八王子プロバスクラブの最古手同好会である。年二回の大会と毎月2回の例会を開いてきた。各自棋力に応じた持ち点があり、それをベースに碁を打つので強い人が勝つのではなく、当日勝ち運に

乗った人が優勝する。大野さんが寄贈して下さった優勝カップは勝者が名前や大会の場所、年月日などを書き込んだリボンをつけ、引き継いできた。故人となった元会長の吉田信夫さん、矢島一雄さんの名前の入ったリボンも何枚かついている。

昨年末に急逝された井上克さんは同年春の大会で優勝しリボンに名前を残している。彼の棋力は高いとはいえなかったが、囲碁を楽しむという点では人後に落ちなかった。月例会には相模原市のお宅から八王子市台町の市民センターに欠かさず参加していた。「東京八王子プロバスクラブ創立 25 周年記念誌」の会員自己紹介欄では趣味の第一に囲碁をあげている。昨年十一月、恒例だった秋の一泊囲碁大会を開こうと皆の背中を押してくれたのはあなただった。開催できて良かったという思いと、もう開けないかなという寂しさが交錯している。会のメンバーはあなたを最後に入会する人がいない。あなたと鳥鷲の争いを続けたかった。



◆娘夫婦がシンガポールに住んでいますので、旧正月・春節の休みに合せて久しぶりに行って来ました。小4の孫息子もゴルフを始めたので、孫の中1の孫息子らと4人で、三世代のゴルフを楽しみました。孫らはスクールに入っているのですが、また若いのでスイングが柔らかくきれいで驚きました。「じーじのスイングは小さいね！」といわれて努力していますが、なかなか体が回りません。歳の老いを実感しています！

持田 律三

◆娘家族はテニスもやっています。私も6年前までテニスをやっていたので一緒にやりました。ストロークはボールが良いところになれば、続けることができますが、ちょっと遠くに来たボールは2~3歩は動いて返せますが、それ以上は足が動きません。ゴルフもそうですが、テニスでも年齢を強く感じさせる旅となりました！でも家族に囲まれ Happy !

持田 律三

俳句同好会便り

◆冬芽の先端が白くなり、間もなく白い六弁花のハクモクレンが開く早春のシーズンとなるでしょう。互いに元気で春を待ちましょう。

内山 雅之

◆シニアダンディズ活動の報告です。2025年1月15日日野ロータリークラブの新年例会にお招き頂きました。京王プラザホテルのステージで演奏しました。2025年度も出演の依頼が5件決定しています。又、老人ホームからの出演依頼も加わると思います。メンバー全員が元気に1年間活動出来ます様願っております。応援よろしくお願い致します。

立川富美代

◆富士山と河口湖をドライブしました。「満月の湖面に映る富士燦々と」

飯田富美子

◆先日甲府市出身の竜電関と行司の38代木村庄之助さんと会食をしました。2人からパワーと元気を貰って、その夜は12時近くに帰宅しました。

飯田富美子

◆プリンターが目詰まりでダウン。ネットで見つけた洗浄液を使ったら劇的な復活。ちょっと嬉しくなりました。

永井 昌平

◆八王子学園八王子高等学校、男子バスケット部は新人戦で東京大会優勝、関東大会でも優勝しました。皆さんの応援に感謝します。

塚本 吉紀

◆5分間スピーチを機会に自分の健康について見直すチャンスをもらい、有難いことでした。

田中 信昭

◆雪国は大変な大雪早く春よ来い！

有泉 裕子

◆今日の例会受付にて、自分の誕生日だと気づきました。すっかり忘れていました。ハッピーです。

山本 通陽

◆冬咲きのランが咲き、窓際が花でにぎやかになっています。

橋本 鋼二

◆全日本プロバス協議会から賛助会員の募集依頼がきています。田中交流担当を中心に当クラブで纏めることとなりますが皆様の協賛を是非お願い致します。

一瀬 明

◆明日はバレンタインデー。かつての義理チョコを沢山貰った時代が懐かしい、ハッピー！！

一瀬 明

私の一句（二月の句会から）

河合 和郎

俳句同好会は14年の歴史を刻んだ。毎月1回の句会を休むことなく170回余。参加者はこの間に700句もの作品を詠んだことになる。句会の楽しみは作品が認められた瞬間にある。さあ今月も。

襟巻のままの一礼初詣

野口 浩平

とにかく寒いので失礼して「そのまま一礼」となる。でも神様は見ています。襟巻や手袋を外した律儀な参拝者にはきっと過分なご利益が。

蘇る木々の喜び春の雨

飯田富美子

春の恵みの雨に万物の命が蘇る。再生の喜びをうまく表現した一句。人もまた、春の訪れと共に躍動する日々でありたいもの。

故郷の小さき賑はい白魚漁

馬場 征彦

故郷の春を偲んでの一句。昔は盛んであった白魚漁も最近では下火に。そんな寂しさを「小さき賑わい」と表現。その昔隅田川の名物でもあった。

古都の茶屋鹿と並びて桃の酒

田中 信昭

古都に鹿の組み合わせといえは奈良。鹿と並んで節句のお祝い酒を飲むとは何とも優雅。人と鹿が日常生活の中で共生する事例は世界的にまれ。

冬晴れの大空に富士聳えたり

石田 文彦

富士の雄姿が浮かぶ一句。明快で力強い。富士山は四季それぞれに味わいのある風景を楽しませてくれるが、寒晴れに屹立する姿はまさに絶景。

梅一輪光の季の在り処

池田ときえ

一輪の梅の花に春の息吹を感じた作者の観察眼。きれいな一句にまとめた。特に中七から座五へかけての表現は秀逸。絵心の賜物か。

瀬の音に踊るひかりや春の川

河合 和郎

水と光と音の共演を春の小川に見た。水嵩が増した春の小川は瀬音を高めつつきらきらと踊りゆく。八王子の郊外にはまだそんな光景が。

編集後記

4ページに収まりました。楽しい記事で紙面を賑わしたいものです。投稿を期待しています。

情報委員会

